

酒類ガイドライン遵守推進本部だより



平成 22 年 10 月 14 日

全国卸売酒販組合中央会  
酒類ガイドライン遵守推進本部

### 「物事を計る基準と尺度の違い」

委員 池田 正三郎

先月、上海万博EXPOをのぞいてきました。

春のオープン時、日の丸の国旗を掲揚できなかったわが日本館。広大な敷地の中で端っこのそのまた行き止まりの場所にあり、個人的な友好気分も汗と一緒に吹っ飛んでしまいました。上海万博のテーマ「環境にやさしく、よりよい生活」に反して、会場内通路、ゴミのポイ捨て、子供の立ちション、臭い水、膨大な照明、ドアもなく紙が流せないトイレ、並ばない中国人、万博でありながら会場案内パンフが中国語のみ（外国語なし）。上海市内においてナンバープレートの無い車の多い事、運転マナーのみならず、自転車、歩行者のマナーのなってないこと。超高層ビル群とのアンバランスに上海全体が万博テーマの会場のような気がしました。

それから数週間後、尖閣諸島における漁船衝突事件、わが国の対応に外交力の弱さを含め、歯がゆい気持ちと万博会場における日本館のみじめさが交差し、これからの日中関係、大変危惧するところであります。

猛暑であった8月、ビール系飲料対前年同月比マイナスであったこと、我々卸売業者のみならず業界全体が「ほろにが」どころか「激にが」を味わった夏ではないでしょうか！アルコール飲料消費の縮小、パイの縮小、業者数の縮小などまさに負の連鎖。我々酒類卸売業者は、安売りに来るデフレスパイラルの真っ只中におかれています。この負の連鎖を断ち切るため、知恵を出し、搾りきって健全な酒類業界へ明るい兆しを見出したいものである。大手も中小も、中央も地方も物事の尺度、ベクトルを合わせ、平成18年8月国税庁長官発出の新指針、皆さん今一度業界の基準として、また、業界における倫理観の尺度として今一度考えてみませんか！

○ 平成 22 年 9 月ビール及び発泡酒等の出荷状況

(単位:kℓ・%)

期間 区分	9 月			1 ~ 9 月		
	当月数量	前年数量	前年比	本年数量	前年数量	前年比
ビール	229,119	230,052	99.6	2,105,557	2,181,718	96.5
発泡酒	86,172	96,078	89.7	741,939	905,439	81.9
新ジャンル	184,664	169,172	109.2	1,416,314	1,283,769	110.3
計	499,955	495,302	100.9	4,263,810	4,370,926	97.5